

たくほん ひょうそう

拓本と表装を楽しむ

拓本とは、石碑や器物などに刻まれた文字・文様を墨で紙に写しとるものです。版面に紙を当て、水で湿らせ密着させた後、墨を含んだ「たんぽ」で上からたたいて、文字などを表します。

この講座では、拓本の技法を学んで拓本をとり、その拓本作品を自ら表装して掛け軸に仕上げます。



日時：令和3年 6月から12月までの 毎月 第3土曜日（全7回）

午後1時30分から3時まで

講師：喜田 松磊 氏（香南拓本会副会長）

場所：高松市香南歴史民俗郷土館 第1研修室

受講料：1,000円

定員：10名（定員に達し次第募集締め切り）

申込み先：高松市香南歴史民俗郷土館（電話：087 - 879 - 0717）

新型コロナウイルスの感染状況により、中止又は内容が変更になる場合があります。

御来館の際には、マスクの着用等、当館が実施する感染予防対策に御協力いただきますようお願いいたします。

高松市香南歴史民俗郷土館

〒761-1402 香川県高松市香南町由佐253番地1

開館時間：午前9時から午後5時まで

（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）

観覧料：無料

電話：087-879-0717 FAX:087-879-1818

